

いなみ町 議会だより

No.59
2013.10



第3回臨時会・第3回定例会

議員紹介・委員会構成	P2～P4
議案審議	P5～P7
一般質問6人が登壇	P8～P13
あとがき	P14

議員紹介

選ばれました。



町議会臨時会(初議会)を開会し、議長及び副体制が決定しました。

議長
堀口 晴生(5回)



このたび第16代印南町議会議長を拝命し、無上の喜びでありますと共に、皆様方に感謝を申し上げます。次第でございます。

この上は、さらに精進努力をして議会の円滑な運営に努めて参りたいと思っております。

4期16年の議員生活の経験を生かしながら、常に町民の皆様方のパイプ役となり、印南町議会で反映されるよう。バランスのとれた調整を心がけます。

住みやすい生きがいのある町作りに、前向きに取り組んでいけるように議会や執行部とも是非々々で協議しながら真摯にむかう所存でございます。皆様方のご支援を頂き、責務を全うしたいと存じますので、何卒ご協力とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

杉谷 考祥議員(2回)



8月4日の今回の選挙について、たくさんの方々のご支持を頂き大変な感謝と感動にひたっております。これからの4年間は、より住みやすい印南町を少しでも実現できますよう頑張っていきたいと思っております。鳥獣害対策、過疎高齢化問題、農業振興に取り組んでいく所存でございます。微力ではございますがご支持頂いた方々のご期待に少しでも添えるよう頑張っていきますので宜しくお願ひします。

中島 洋議員(1回)



私は抱負に2点を掲げます。1点目に、防災対策の充実に取り組んで参ります。印南町は地震・津波・豪雨等への危機管理対策を優先する必要があります。避難路や避難場所の整備や浸水対策に積極的に取り組めます。2点目に、将来を担う子どもたちの教育環境の充実に努

力します。わかやま国体や東京オリンピック開催等スポーツに関心が高まる中、子どもたちがスポーツを通じ強い心と身体を育める環境整備に取り組みます。

藤本 良昭議員(7回)



議員経験24年とその中で4年間の議長経験をさせていただきました。これらの貴重な礎をもとに初志を忘れることなく、このすばらしい郷土、印南町の持続可能な発展のために全力を尽くして参りたいと思ひます。そのためには議会と執行部・町民のいわゆる「3本の矢」の如くそれぞれの立場を理解、協力しあつてよりよい町づくりに邁進しようではありませんか。

榎本 一平議員(4回)



3期12年間の議員の経験を生かし、今後も住民のみならずの声を町政に届ける代弁者として必ず一般質問を行います。今後4年間の公約と

して1つ目に、子どもたちの健康と学習環境の改善を図るため、各小中学校の教室にクーラーの設置を求めます。2つ目は、各地で深刻になる鳥獣害。農家や関係者の意見をよく聞いて対策を求めていきます。最後に、深刻な不況が続く中、地域の緊急経済対として、各地で効果を上げていく「住宅リフォーム助成制度」の提案を積極的に進めていきます。以上、3つの公約をしつかり提案し、実現できるようにしつかり勉強し、発言して参ります。

藤本 利広議員(2回)



8月4日の印南町議会議員選挙で当選させて頂き、2期目となり気持ちも初心に戻り住民の皆さんが、安心して生活ができるように、防災面に重点を置き、議会での発言等を行ってまいります。また、これからも住んでよかつたと思えるような町づくり、教育環境の充実に力を入れていきたいと思ひます。

第15期印南町議会

議長に堀口晴生氏、副議長に玉置克彦氏が

8月4日に執行された印南町議会議員一般選挙で12名の議員が当選しました。改選後の9月2日に第3回印南議長選挙、各常任委員会委員の選任、一部事務組合議会議員の選挙、広報特別委員会の設置等を行い新しい※紹介順は、議席順です。

副議長
玉置 克彦(2回)



このたび臨時会におきまして、副議長に就任させていただくことになり改めて責務の重大さを痛感しております。元より浅学非才ではございますが、与えられました職責を果たすべく身を粉にして努力していく所存でございます。また、改選により新任3名が誕生しました。ともに力を合わせ、町民の声が行政に届く議会として、益々の町の活性化、安心安全な街づくりに向け、がんばりたいと思っております。今後ともご指導ご鞭撻をいただきますようお願い申し上げます。

野村 正明議員(1回)



議員として与えられた行政のチェック機能を果たすために努力する事はもちろんであるが、地域と行政とのパイプ役として、住民の意思が多様化する中で出来るだけ多くの人の声を聞き、地域や町の現状と問題点の把握に努め、行政との連携のもとに住んで良かったと実感出来るまちを目指して課題の解決に取り組んでいきたい。

村上 誠八議員(2回)



8月印南町議会選挙についてご支持を戴き再び携わらせて頂けることになりその責任の重さを受け止めています。印南町住民の安全安心の環境づくりを求めて努力します。

- 1、自然災害から命を守る対策体制づくりや共に助け合う共助の取り組みの推進
- 2、印南の物産、付加価値商品の生産支援の推進
- 3、高齢者家庭の安全、生

岡本 庄三議員(2回)



活確認、在宅支援体制など住民の安心生活ができる町づくりを目指します。今後ともご支援ご指導賜りますようお願い申し上げます。

- 1、防災・減災対策に取り組みます。
- 2、高齢者対策に取り組みます。
- 3、若者定住対策に取り組みます。
- 4、子育て支援に取り組みます。
- 5、産業の振興に取り組みます。
- 6、行財政改革の推進

井上 孝夫議員(2回)



以上の6点を重点目標に取り組み「安心・安全で生きがいを持って印南町政づくりに貢献していきたい」と考えています。

この度の改選にあたり、再び議席を与えて頂き心から感

謝申し上げます。

託されました4年間、二元代表制の一翼を担う議会の一員として、自らの資質の向上に努めるとともに、地域の代弁者として民意を町政に反映していき、皆様の生活向上に貢献し、「夢語れる町」創りに、日々精進していきたくと考えております。

皆様のご指導をよろしくお願い申し上げます。

前田 憲男議員(1回)



何もわからないまま選挙に出て、議会も始まりました。桐の箱に入った議員バッチを貰って本当に小学校に入学したてのような気分になりました。今回の議会では、先輩議員の一般質問を聞かせて頂き、皆さん色々とお勉強をさせていただくことがよくわかりました。まだまだ勉強不足の私ですが選挙期間中に自分が掲げたこと、また、街頭演説で述べたことは、守っていきます。少し勉強する時間を頂きたいと思っております。



各委員会構成

平成25年9月2日の第3回臨時会(初議会)で、委員会構成が決定しました。

■ 総務産建常任委員会[6名]

役職	氏名
委員長	村上 誠八
副委員長	藤藪 利広
委員	杉谷 考祥・藤本 良昭 前田 憲男・玉置 克彦



■ 文教厚生常任委員会[6名]

役職	氏名
委員長	井上 孝夫
副委員長	榎本 一平
委員	中島 洋・野村 正明 岡本 庄三・堀口 晴生

■ 議会運営委員会[5名]

役職	氏名
委員長	榎本 一平
副委員長	岡本 庄三
委員	杉谷 考祥・藤藪 利広 野村 正明



■ 議会広報特別委員会[6名]

役職	氏名
委員長	岡本 庄三
副委員長	榎本 一平
委員	中島 洋・藤藪 利広 村上 誠八・前田 憲男

一部事務組合議会議員等

- 御坊広域行政事務組合(藤藪 利広)
- 御坊市外五ヶ町病院経営事務組合(藤本 良昭)
- 日高広域消防事務組合(村上 誠八)
- 御坊日高老人福祉施設事務組合(杉谷 考祥)
- 和歌山県後期高齢者医療広域連合(堀口 晴生)

平成25年第3回定例会（9月議会）

第3回定例会は、9月11日に開会し20日に閉会しました。上程議案は、専決処分1件、条例制定・改正4件、補正予算4件、工事請負契約4件、監査委員の選任1件、教育委員会委員の選任2件、人権擁護委員候補者の推薦1件、印南町副町長の選任1件の計18件と財政健全化判断比率及び資金不足比率の報告1件についてを慎重に審議しました。

「子ども・子育て会議 条例」に対する質問 — 全員賛成で可決 —

今回、提出されたこの条例は、平成24年8月に国会で成立した「子ども子育て支援法」に基づき新しく定められるもので、平成27年度から5年間の子ども・子育て支援事業を計画し、取り組んでいくための町の条例（法律）です。

質問

子ども・子育て支援法は、児童福祉法の分野で本来、住民福祉課が担当するのが筋ではないですか。なぜ、教育委員会が受け持つのですか。

答弁（教育課長）

現行の次世代育成支援の計画も教委で策定したものであり、特に0歳から5歳の待機児童を出さないというのが大きな柱です。

現在、子ども園等の

所管をしているのが教委ですので、教委が担当することが合理的と判断しました。

質問

子ども・子育て会議は「15人以内の委員で組織する」となっていますが、具体的にどの分野の方々が該当するのですか。学童保育に携わっている方も対象になりますか。

答弁（教育課長）

こども園、小、中学校の保護者等の代表、

「こども園」の園長、保育士、また、子ども子育てサークルを運営している方々です。子ども・子育て支援に關し学識経験のある方で主任児童員や子育てに關し知識を持っている方々です。

学童保育で指導員として現在働かれています。方なども委員の構成メンバーに入っていたら、きたいと考えています。



印南っ子交流センター

● 4つの条例を可決しました。

- ◎ 印南町税条例の一部改正
- ◎ 印南町国民健康保険条例の一部改正
- ◎ 子ども・子育て会議条例の制定
- ◎ 印南町工場設置に関する条例の一部改正

● 4つの補正予算を可決しました。

- ◎ 平成25年度一般会計補正予算(第5号)
- ◎ 平成25年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)
- ◎ 平成25年度簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)
- ◎ 平成25年度農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)



印南橋

- 4つの工事請負契約(本契約)を可決しました。
- ◎ かえる大橋の耐震補強工事(1億8,142万)
- ◎ 島田・マリンパーク大橋の耐震補強工事(9,100万)

◎ 印南橋の耐震補強工事(8,515万)

◎ 町道東光寺光川線の避難道路整備工事(6,634万)

● 国と関係機関に意見書を提出しました。

道州制の導入に断固反対する意見書

● 1億6,127万9千円を増額する補正予算が提案され、これを可決しました。

この補正予算に対する質疑は次のとおりです。

質問

印南漁港施設機能強化事業基本設計業務委託料3,500万円について、具体的な内容の説明を求めます。

答弁(建設課長)

漁港の施設が防災対策の中でどれくらい機能の有しているのか



印南漁港

答弁

ポンプを動作させるための非常用電源と合わせてユニットを持つた業者に搬送をお願いして、職員と消防団員が使用します。

質問

木造住宅耐震化推進事業に、

調査するものです。

質問

排水ポンプ4台(2,098万円)を購入する予算がありますが、緊急時に誰が操作・使用するのですか。役場職員ですか。それとも消防団ですか。

答弁(総務課長)

耐震改修について問い合わせのあった分を補正計上した。今後と

も広報や自主防災会でもお知らせしていく。

質問

保育士処遇改善臨時特例事業とはどのような内容ですか。

答弁（教育課長）

こども園の保育士等処遇改善の補助金ですが、現場においては、同じ保育士、また、幼稚園教諭として共に働いています。処遇改善手当ということが分かるように職員に支給します。

質問

土木費、道路新設改良事業費、償還金、利子及び割引料535万4,000円、23年度社会資本整備総合交付金返還の経緯を説明願います。

答弁（建設課長）

平成23年度から25年

度の3か年で事業計画をしていましたが、本年25年度で補助金の交付決定をもちまして、その過剰分の返還が生じたものです。

質問

備品購入で非常用電源618万5,000円とありますが数百キロもある発電機を緊急時にどのようにして運び使うのか。

答弁（総務課長）

ポンプの移動だけでなく、建設業界の方が災害時の対応ということと事前に運んでいたことと重なっています。

質問

排水ポンプ（2,098万）と非常用電源（618万5千円）の購入についてですが、地方地区や島田地区等の災害時に有効に利用

するための体制づくりができるのですか。

非常用電源は、稲原防災センターとあけぼの交流センターに配属することですが、緊急の対策ができますか。

答弁（総務課長）

建設業協会との応援協定と現場職員で対応できるものと考えています。

質問

事業費の確定により共栄公園整備の財源である辺地債を800万円を減額補正するとの説明でしたが、辺地総合整備計画の変更を議案として提案する必要はないのですか。

答弁（総務課長）

事業費の確定ではなく、設計額の確定ということです。辺地総合整備計画の変更は3月

議会で一括提案したいと考えています。

議案第73号「印南町副町長の選任について」が追加議案として提案され、生活環境課長の古谷正信氏を副町長に選任することを全会一致で可決しました。任期は10月1日から4年間となっております。

質問

今回の副町長の人事案件を追加議案とした経過、理由の説明をお願いします。

質問

熟慮に熟慮を重ねたため、時間的な理由から追加議案となったものです。

答弁（町長）

熟慮に熟慮を重ねたため、時間的な理由から追加議案となったものです。

質問

副町長を選任することについて、組織内で協議は行いましたか。

また、町長は、副町長に何を求め、今後の組織をどのようにされま

答弁（町長）

事前に課長会において報告を行いました。また、人格的にも優れ、行政に精通していることもあり、私の片腕となつて働いていただけ、そういう思いです。

◎監査委員（議員選出）の選任について【同意】

印南原3395番地 野村正明氏

◎教育委員会委員の任命について【同意】

山口689番地の4 岡本徹士氏
榎川834番地 脇野かほり氏

◎人権擁護委員の推薦について【適任】

西ノ地2361番地 西山忠雄氏



一般質問

岡本 庄三 議員

平成26年度で庁舎は建設出来るのか ～庁舎建設の進捗について～

質問① 用地の買収計画はどの程度進んでいきますか。買収の規模やスケジュールについてご説明願います。

答弁 総務課副課長
プロジェクト委員会

で選定した候補地の地権者に対し、事業の説明を行い、意向確認をしています。また、地権者の方から出された条件について対応できるか検討しているところです。買収の規模・スケジュールについては、答弁できる状況にはございません。

質問② 庁舎の規模はどのようになるのですか。基本計画や基本設計には着手しないのですか。具体的にどのような

庁舎にするか検討されていますか。また、印南町は平成26年度の庁舎建設費用に充てる財源として9億6千万円の起債を国に要望しています。来年度建設は本当

に出来ますか。総務省は、来年度も引き続き財政支援を継続することを発表しましたが、印南町は来年度要望している起債を見送ることはないですね。

答弁 総務課副課長

基本計画、基本設計に着手できるような状況には、まだ至っていません。26年度で建設出来るよう全力で取り組んでいます。

答弁 総務課長
起債については、平成26年度に建設というところで県の方に要望を提出しています。

質問③ 「事務所（役場）の位置の変更に關する条例」はどうされますか。9月議会までに上

程したいとのことでしたが、今議会の議案にはありません。いつ頃を目処に考えていますか。そこで提案いたしました。前の計画地である町有地に建設してはどうですか。費用も用地交渉する必要もありません。来年度建設するためには、その方法しかないと思いますが、それが最善の方法じゃないのですか。是非とも、そのこと

について検討していただきたい。町長が勇気を振り絞って英断されることを望むわけですが、いかがでしょうか。



ことは考えていません。

について検討していただきたい。町長が勇気を振り絞って英断されることを望むわけですが、いかがでしょうか。

答弁 総務課副課長

少しでも早い時期に上程できるように取り組みたいです。

答弁 町長

勇気を振り絞って新しい場所に決定したものであり、時計の針を戻すことは、考えていません。（前計画地に建設する





ここが聞きたい

コミュニティバスの運行について

藤薮 利広 議員

質問 コミュニティバスの利用状況はどのようになっていますか。地域別、利用場所、利用日数は把握していますか。

答弁 総務課長 延べ人数2, 176人で467日です。利用場所については、確かではないですが、男性では病院、女性では買い物や、病院の利用が多いと伺っています。

答弁 総務課長 現在アンケートは取っていません。しかし昨年6月以降、陸運局の許可を取って区域運行にしたことで出来るだけ近くまで送迎が出来るよ

うになっていきます。より利用者の利便性が図れるように、取り組んでいきます。

再質問 南海バスが運行している南谷や明神川の方々は、御坊方面への利用には便利がいいですが、役場や印南方面へ行く場合は、コミュニティバスが利用できませんが、改善できませんか。

答弁 総務課長 現時点では、不可能な状態です。しかし今後南海バスと協議して乗り継ぎ場所も検討しながら調整出来ればと思います。今後の検討課題とします。

質問 南海バスの路線の変更をして日高病院前までバスを走ってもらうこ

とは出来ませんか。

答弁 総務課長 日高病院が改装中のため、乗り入れ可能な状態になったときには県の公共交通会議の中で協議をして頂き認めて頂ければ南海バスも検討の一つとしてとりあげていくとの事です。

再質問 古井でのデマンドバスと南海バスへの乗り継ぎ、雨の日や待ち時間がある場合の待合所がありませんが今後、考えられませんか。

答弁 総務課長 設置するには陸運局、警察、道路管理者の許可が必要となります。また設置場所の確保や設置後の維持管理費が発生するため今のところ新たな停



留所は考えていません。南海バスとの乗り継ぎ場所の時間を起点とし、他の乗降場所の時間を設定します。

防災について

質問 緊急を要する場合は仮設住宅の用地は確保していますか。

再質問 小学校や中学校のグラウンドを長期に利用するとなると、本来の学枝施設としての利用にも支障が生じます。目的外の利用にあたりませんか。

答弁 建設課 具体的には、若者広場や島田運動場、各小、中学校のグラウンド等、17か所で約8万㎡を確保し、対応していきたいと考えています。

答弁 建設課長 その災害規模あるいは被災住宅の件数、そういったことも考慮しながら、住民生活をやはり最低確保していくことで理解を求めていきたいという考えです。いづれにしても住民生活の利便性を考慮した中で確保すべき用地については、個人所有地も含めて対応していく考えです。



一般質問

防犯カメラ設置に対する支援について

玉置 克彦 議員

質問 地域での防犯活動を支援するため、自主防災会・区等の団体が設置する防犯カメラに対して費用の一部を補助するということは考えられませんか。

答弁 総務課長

8月中の事件の不審火なども発生したことから、防犯カメラの設置ということは対策の一つだと考えられます。しかしながら、犯罪の防止という観点から警察と協議して対策を講じていかなければならないと考えているので、防犯カメラへの補助については、考えていません。

質問 公衆の安全や犯罪の未然防止などを目的として、犯罪の発生率が高いと見込まれる

地区、商店街等不特定多数の人々が集まる地域の主要道路に防犯カメラ等の整備を考えていませんか。

答弁 総務課長

十分意義のあるものでありますので、今後、そういう取扱い等も含めて、慎重に協議をして進めていきたいと考えています。

一人暮らしの高齢者等の生活の維持について

質問

町内で高齢者が安定して住み慣れた地域で生活を維持していくために、要援護者以外の高齢者も含めた新たな施策を検討してはいかですか。

答弁 住民福祉課長

社会保障国民会議の報告や今後の国の動向を注視し、ボランティア活動やシルバー人材センターでの施策の展開や広域圏での対応も含めて考えてまいります。

質問

独居高齢者の安否確認が可能な見守りシステムを導入する考えはないのですか。

答弁 住民福祉課長

見守りシステムについては、緊急通報装置の設置やインターネットを利用したシステムの導入等、今後も研究が必要と考えていますが、地域のコミュニティの良さを大切にしていきたいです。

プレミアム商品券について

質問

消費拡大と町外への消費流出防止を図り町内事業者の売り上げ増加、地域活性化につながることを目的として事業化した経過がありますが、平成25年度の予算化は考えていないのですか。

答弁

産業課長

平成25年度予算に計上しないことは、商工会の関係者の方には申し



上げています。しかしながら、今後この問題も含め、商工会の皆様と活性化に向けた取り組みをしていきたいと思っています。





議会の映像配信推進について

井上 孝夫 議員

質問 信頼され開かれた議会を目指していくうえで、議会情報は正確で分かりやすく迅速かつ容易に伝えることが重要です。印南町議会の映像配信推進への執行部の考えをお聞きします。

答弁 総務課長
開かれた議会という観点から映像等の配信については、前向きに検討すべきと考えています。

社会保障制度改革の動向について

質問① 国民会議では、救命・治療が前提の「病院完結型」から、在宅医療や介護までつなげる「地域完結型」医療へ転換することが提案されていますが、今後の地域医

療提供体制をお聞きします。

答弁 住民福祉課長
高度医療にかかる病院、急性期の病院、回復期の病院、慢性期の病院と4つの病院体制に分け、良質かつ適切な医療を効果的に提供すること、必要な医療に相応しい医療を提供できる病院を目指していくこととなります。

質問② 国民健康保険の運営を市町村から都道府県へ移管することが提案されていますが、医療保険制度改革をお聞きします。

答弁 住民福祉課長
財政の安定化、保険料の平準化に取り組み、平成29年度、国民健康

保険の運営を県へ移行されます。国民健康保険には、構造的な問題があるため、財政的な問題の解決を図ることが県への移行の前提条件となると示しています。

質問③ 要支援者を保険給付の対象から外すことが提案されていますが、今後の介護保険改革をお聞きします。

答弁 住民福祉課長
1 要支援1、2の介護サービスを保険給付の対象外とし、市町村の事業となります。

2 一定以上の所得を有する方には利用者負担割を現行1割から見直しを図っていきま

3 食費や居住費の補足給付の支給に資産割を勘案していきま

4 低所得者への保険料の軽減措置もさらに拡充を図っていきま

す。

いずれも、次期介護保険計画の開始される平成27年度に必要な措置を講じていきます。





一般質問

各小学校、中学校の普通教室にクーラーの設置を 児童・生徒の健康管理と快適な学習環境を

榎本 一平 議員

質問

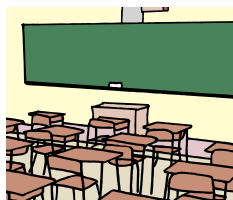
今年の夏は大変な暑さを記録し、日高地方でも「高温少雨」となりました。日高地方には、日高川町の気象庁観測所で、6月、7月、8月の最高気温はそれぞれ、33.3度、35.5度、38.3度を記録しています。印南町では、児童・生徒が学習する普通教室にクーラーは設置されていません。子ども達の健康管理、教室の室内温度を適切にし、快適な状況の中で学習に取り組めるように、普通教室にクーラーの設置を提案します。基本的な考え方と見解を求めます。

教育委員会が「クーラー設置を検討する時期が来た」と答弁。

答弁 教育課長

教委では、これまで老朽化等に伴う施設の改修を行い、教育環境の向上に順次取り組んでまいりました。

普通教室にクーラーの設置を本格的に検討する時期が来たと考えています。授業運営の検討をし、小・中学校への設置の順番等も検討したいと考えています。



役場職員の超過勤務手当や代休日を取る手続きと昨年度のものそれぞれの実績はどうなっていますか。

質問

当町では、「定員適正化計画」のもと、職員数の削減が実行され、平成24年度は、職員一人当たりの人口は百人で県下の町村の平均68人、県全体の平均90人を大きく上回っています。職員構成は、5年前に比べ若い職員の皆さんの比率が高くなっています。このような労働状況の中で超過勤務（時間外労働）手当、休日出勤の手続きと昨年度の実績はそれぞれどうなっていますか。

答弁

総務課長

手続きは職員が超過勤務の伺いを所属長にたて、それに対し所属長が必要と判断した時、職員に超過勤務の命令を出します。昨年度の実績は、444名、2千7百15時間で、手当額は6百1万6千361円です。休日勤務については4時間以内の場合、半日の振替え又は超過勤務手当を長が認めたら選択でき、4時間を超える場合、1日の振替え又は超過勤務手当も同様に長が認めたら選



択できます。昨年度の実績は、1日の振替えが138名、半日の振替えが41名となっています。





国保税事業の現状と運営見通しについて

村上 誠八 議員

質問 国保税率改正条例

案が3月議会で否決されました。執行部としては、さらなる滞納整理に努め、健全な財政運営を図ることを優先していくとの決意でしたが、現在の状況はいかがですか。

答弁 税務課長

徴収強化に努めています。滞納者には多くの低所得者がおられます。月分割納付制や税回収機構を通し滞納整理を進めています。徴収額については、前年比より伸びています。

町の国保財政の悪化要因は、若い被保険者の減少、いわゆる被保険者の高齢化が進んだこと、介護納付金30パーセント上昇、後期高齢者支援金の46パーセント上昇、経済の所得の悪化が主な要因です。(平成20年と比較して)

質問 国保会計へ財源補

填としての一般会計からの町費の支出は考えていますか。

答弁 住民福祉課長

国保会計は自主財源と公費セットの独立採算を原則としているが、悪化要因を考慮しつつ子ども医療費など一般会計より繰り入れルール作りを示し、対処していきたい。

次年度には大幅な赤字が生ずる形の中で対策を審議し、町住民の負担軽減に努めたいです。

質問 安全、安心の町つ

くり、防災事業の実施及び計画の報告を求めます。

答弁 総務課長

実施中の事業

・避難道路整備(6線)
印南地区(3線) 切目(3

線)

・橋りよう耐震補強、落橋防止(4橋)

印南地区(3橋) 切目地区(1橋)

・ソーラー誘導灯(切目地区2基)

計画中の事業

・避難道路整備(4線)
印南地区(3線) 切目地区(1線)

・橋りよう耐震補強、落橋防止(切目地区1橋)

・ソーラー誘導灯(印南地区5基)

・無停電屋外改修(89基)
印南地区(56基) 切目地区(33基)

地域から要望のある事業

等
・避難道路整備(6線)
印南地区(2線) 切目地区(4線)

・ソーラー誘導灯(印南



答弁 総務課長

地区4基、切目地区4基、切目川地区3基、稲原地区3基、真妻地区1基
・津波避難タワー(切目地区1基)

印南地方、切目川内浸水対策について

質問 地方地区等の排水

対策として整備されるポンプの処理能力や切目川河川改修による河川の排水能力の改善について、どの程度の降雨量まで対応できるのか、お伺いします。

切目川排水能力は基本的に24時間2百〜3百ミリ、時間雨量15ミリぐらいで、被害が発生する可能性があります。被害軽減に努めたいです。

切目川排水能力は基本的に24時間2百〜3百ミリ、時間雨量15ミリぐらいで、被害が発生する可能性があります。被害軽減に努めたいです。

いなみかえるの宿



会員と九度山町の小学5年生

平成23年に自然豊かな
印南町の魅力を県外に
伝える方法として、農
林漁家民泊を推進するた
め「いなみかえるの宿」
が発足しました。会員は
現在47名で、子どもたち
(小、中、高校生)の受
け入れを行っています。

旅行生の受け入れを行
いました。これを機会に、
修学旅行で印南町を訪
れる学校が増えればと期待
を抱いています。

体験メニューでは、乗馬、
漁船クルージング、川遊
び、フワフワアートなど、
印南町ならではの体験に
人気があります。そして、
何より好評なのが民泊体
験で、各家庭で一緒に食
事を作ったり、農作業を
したりと、受け入れ家族
とのふれあいを大切にし
ています。特別なお客様
扱いではなく、自分たち
の日常生活に子どもたち
が入るといふ感覚です。

会を発足して何よりう
れしいことは、職種や地
域、年代を超えて和やか
なムードの中、個々の得
意分野を生かした会の強
さが見えてきたところで
す。最近、台湾をはじめ
東南アジアから農家民泊
を組み入れた観光客が増
加しています。印南町に
おける観光客数の増加、
地域の活性化につながる
よう、おもてなしの心を
大切に活動していきたい
と思っています。

平成24年度は、海外2
校、国内3校の210
名、25年度(予定含む)
は海外5校、国内3校
の364名の受け入れを
行っています。今年9月
に初めて2泊3日の修学

会長 庄田 登紀美



あとがき

秋の深まりを感じる
今日この頃ですが、皆
様方はいかがお過ごし
でしょうか。

8月4日任期満了に
伴う印南町議会議員一
般選挙が行われました。
広報特別委員会も九月
議会からは新メンバー
力を合わせて取り組ん
でまいります。

印南町議会の活性化
を図り、より多くの方
々に議会情報を発信す
るためにフェイスブック
の取り組みも始めます。
「いいね!」と言ってい
ただけるような広報紙
に努めますので、よろ
しくお願いします。

メールアドレス
gikai@town.wakayama-
inami.lg.jp

議会広報特別委員会

- | | | |
|------|----|----|
| 委員長 | 岡本 | 庄三 |
| 副委員長 | 榎本 | 一平 |
| 委員 | 中島 | 利洋 |
| | 藤敷 | 誠八 |
| | 村上 | 憲男 |
| | 前田 | |